

報道解禁日時	新聞	会見終了後
	ラジオ テレビ インターネット	会見終了後

令和6年4月24日
自然史博物館
電話：0274-60-1200

常設展示されているクジラ化石が新種と判明！

1 概要

- ・自然史博物館が常設展示しているペルー産のクジラ化石を調査したところ、ナガスクジラ科の新種であることがわかりました。
- ・このことについて報告する論文が群馬県立自然史博物館研究報告に掲載されました（令和6年3月31日出版）
- ・学名は *Incakujira fordycei*（インカクジラ フォーダイセイ）。新種名は研究のきっかけとなった世界的なクジラ類化石研究者であるオタゴ大学名誉教授（ニュージーランド）のユワン・フォーダイス博士（故人）に由来します。

2 化石標本と研究経緯

- ・今回新種として報告された標本は 1987 年にペルー共和国アレキバ県にあるサカコ盆地の Aguada de Lomas 地域で発見されました。この化石は 1991 年に群馬県が取得し、県立歴史博物館のエントランスで展示されたのち、1996 年の自然史博物館の開館時より同館の常設展示室において展示されています。
- ・2004 年に群馬県の教育文化施設調査研究費を活用してフォーダイス教授とクジラ類化石について共同研究を行いました。この過程で、今回の標本が新種のナガスクジラ類とみられることが判明しました。その後、研究を継続し、2024 年 3 月に発行された群馬県立自然史博物館研究報告に、本標本を新種のナガスクジラ類として報告する論文を発表しました。



Photo: Black Hills Institute



発掘当時の様子(上), 新種となった展示標本(下)

3 問い合わせ先

群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1

TEL 0274-60-1200 ホームページ <https://www.gmnh.pref.gunma.jp/>



群馬県立自然史博物館
ホームページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

